

CIOの心得箇条

経営トップとのコミュニケーションのために

トップ理解の心得

- トップは忙しい / IT だけではない
- 技術そのものが知りたいわけではない
- 真実本質を知って投資判断してもらう
- CEO だけでなく社外取締役も分かるように

心得の基本



説明の基本

トップとのコミュニケーションの心得

- 信任を得て人間関係をつくる
- 粘り強く定期的にディスカッション
- 説明は簡潔に、報告は結論から
- 不満、不安、不信をよく聞く
- 経営用語で話す
- IT サポータを用意して日常補完
- バッドニュースほど早く伝える

- 投資の枠組みは課題、将来性を簡潔に
- 業務改善とシステム導入を両輪で
- 戦略的投資とインフラ投資を仕分して
- 簡素化 / スピード / 品質 / ムダとりと収益がキーワード
- 経営 / 事業への貢献を図 / 数字で
- 自社事例 / 他社事例で分かりやすく
- 必要なリソース、リスク、費用の相場を説明

投資効果

リスク

技術

- トップへのベンダコンタクトは事前ブリーフィングと事後フォロー
- 技術 / IT トレンドを「適用」の視点から
- 技術の本質を日常用語で
- 情報端末の実物に触れてもらい説明

- 失敗の可能性とヘッジプランを伝える
- 行きすぎた情報化の弊害も説明
- 他社の失敗事例 / 係争事例と原因を解説
- セキュリティトラブル事例と自社での可能性、現実的な予防策を示す